

# 平成29年 助成事業一覧表

(※開催日順)

事業名	実施時期	事業目的 / 事業内容	団体名
	実施場所		
(1) 自然と音楽の融合した音楽散歩道	平成29年4月15日	京丹後市立いさご小学校の裏手にある山と正門前にある畑を校区の子どもから大人までの地域住民が栽培活動等を通じて交流を図る環境整備をしたところで、自然と音楽が融合したコンサートを行うことにより、環境分野での音楽の振興及び青少年の健全な育成に寄与することを目的とする。	特定非営利活動法人 ハーブとスローフードの まちづくり
	未定		
(2) 自然と音楽の融合した音楽散歩道	平成29年4月29日 平成29年5月6日	“Tokyo Cantat”は世界各国の合唱音楽の紹介と日本の合唱文化の再確認という2つの柱から成り立っている。世界的に活躍するフリーダー・ベルニウス、エルヴィン・オルトナー、カスパルス・プトニシユの3指揮者を講師として迎え、セミナーと講師指揮のコンサートを行う。セミナーでは歌唱法や指揮法を中心にレッスンが行われ、希望者は自由に参加できる。多様な公募合唱団に参加し、講師の直接指導を受けて5月6日のコンサートに参加することもできる。また演奏者としてコンサートに参加することもできる。後者の企画としては、日本語の美しさや日本古来の音楽、日本人の作曲家に焦点を当てた今回のやまとうたの血脈(けちみやく)では、大正・昭和前期の抒情詩を題した合唱曲を通して詩人の生きた時代と詩人の生き方を振り返る。オープニングコンサートでは、2015年(前回)に大好評だった「第3回 紅白合唱合戦」を更にパワーアップし開催する。一層賑やかに楽しくコンサートを堪能しながら観客の皆さまに審査をしてもらう。	21世紀の合唱を考える会 合唱人集団「音楽樹」
	すみだトリフォニー 大ホール		
(3) 熊本地震被災地音楽環境 再生整備事業	平成29年5月5日	熊本地震により家屋やライフライン等の崩壊はもちろんのこと沢山の地域コミュニティも崩壊した。しかしながら、この震災発生時にも一早く対応したのは、この地域コミュニティと交流のある様々な音楽家たちであり震災発生期には災害ボランティア、中期には支援ボランティアやチャリティーライブ、そして中長期として音楽療法や演奏による生活の質の向上など音楽の絆と力による復興と再生には凄まじい効果がある。この力を利用して地域コミュニティ再生と環境の整備にキッカケを与え震災前の状況まで復旧することを目的とする。	特定非営利活動法人 西臼杵教育振興連合会
	熊本県西原村の 久保田自動車敷地		

# 平成29年 助成事業一覧表

(※開催日順)

事業名	実施時期	事業目的 / 事業内容	団体名
	実施場所		
(4) 第35回 アザレアのまち音楽祭 2017	平成29年5月 7日 ～6月17日	地域在住・出身の優れた音楽家たちを支援し、鳥取県中部地区を中心とした鳥取県全域の芸術文化の活性化に寄与するべく毎年この音楽祭を開催している。2017年度も5月7日～6月18日の1ヶ月半の期間に地域在住・出身の優れた音楽家たちによる器楽・声楽・邦楽など多彩な27公演を鳥取県全域の皆さんに届ける。音楽による感動を体験してもらうことで美しい・素晴らしいという感性に満ち溢れ、心の豊かさに溢れる地域社会の醸成に貢献することが狙いであり企画にしている。	アザレアのまち音楽祭 実行委員会
	鳥取県立倉吉未来中心 大ホール 他		
(5) ニッセイ名作シリーズ2017/ NISSAY OPERA 2017オペラ 「ラ・ボエーム」	<p>▶東京公演 平成29年6月13日 ～24日</p> <p>▷全国公演 平成29年6月30日, 7月13日, 9月 8日, 9月13日</p>	初めてオペラを鑑賞する中・高校生が本公演によってオペラに興味を持ち、今後も自主的にオペラ鑑賞する、或いは将来オペラの世界に関わる人材がでてくれるよう願いをこめて本事業を実施している。演目はプッチーニ作曲「ラ・ボエーム」世界中で上演され続けている代表的なイタリアオペラのひとつである。今回は初めてオペラを鑑賞する生徒の皆さまに物語の理解を深めて貰えるように原語ではなく新訳による日本語で上演を行う。また当公演で中高生招待公演を8公演、約1万名招待する予定で「一流の作品を多くの人に提供する」をモットーに学校公演は2015年度から完全無料で実施している。参加校の募集先も都道府県を広くし中学・高校にも案内を募り募集先の開拓にも力を入れている。本公演の様子は映像収録され、鑑賞教室に参加出来なかった学校も含めて、アーカイブスとして誰でも閲覧出来るように準備をしている。全国公演では日生劇場で上演した内容をそのまま、質を落とさずに再現上演を行い質の高いオペラを全国津々浦々、多くの学生達へ公平に鑑賞する機会を提供して行きたい。	公益財団法人 ニッセイ文化振興財団
	<p>▶東京公演 日生劇場</p> <p>▷全国公演 三重県, 滋賀県, 長崎県,他</p>		
(6) HIROSIMA HAPPY NEW EAR 23 次世代の作曲家たち5	平成29年6月16日	現代音楽を広島の新たな文化として定着されるため、平成19年度から広島市出身の作曲家細川俊夫氏を音楽監督に迎え、国内外の演奏家による高レベルの演奏に細川氏の解説を交えた演奏会を年2～3回程度継続して実施している。また「平和への思いの共有」を体現するため「ヒロシマ」をテーマにした作品を将来有望な作曲家に委嘱し、広島交響楽団の室内オーケストラによる初演を行うことで平和都市「ヒロシマ」から文化芸術を創造・発信する。	ひろしまオペラ・ 音楽推進委員会
	JMS アステールプラザオーケストラ等 練習場		

# 平成29年 助成事業一覧表

(※開催日順)

事業名	実施時期	事業目的 / 事業内容	団体名
	実施場所		
(7) 第2回 アフリカ・マコンデ族による 音楽・文化交流ツアー	平成29年7月～9月 (日本での公演期間)	日本ではまだ馴染みの薄い東アフリカの優れた音楽を通じた、日本における音楽文化の振興及び日本・アフリカの国際理解活動。 下記公演内容を日本30ヶ所以上で公演。 参加者数2,000名以上。 〈公演内容〉 ①音楽→マコンデ族の音楽を主とした モザンビークの音楽ライブ演奏 ②文化→マコンデ族の伝統秘儀舞踏であるマピコを実演 ③スカイプ国際交流→モザンビークと日本会場をつなぎ リアルタイムコミュニケーションを実施	モザンビークの いのちをつなぐ会
(8) 子どもたちのための ワンコイン・コンサート	平成29年7月30日	〈目的〉 子ども達が気軽にクラシック音楽に触れ親しみ音楽を愛する心を育ててもらいたい。また、福島出身の音楽家たちが故郷に集い、故郷の皆様のためになる活動をしたいという思いを叶えるため。 〈内容〉 0歳児から楽しめる参加型プログラムの第一部。簡単な解説つきクラシック・コンサート形式の第2部構成。	Musicians from FUKUSHIMA
	とうほう・ みんなの文化センター		
(9) オーケストラ・ニッポニカ 「第31回演奏会、第32回演奏会」	平成29年 7月30日 12月17日	2016年6月に作曲家・野平一郎氏を団のミュージック・アドバイザーに迎えたことに依り1950年以降の作品にも着目して企画立案した。演奏の実践に加えて参考資料となる詳細なプログラム冊子の製作・無料配布、演奏録音収録と公開、製作した演奏楽譜(レンタル以外)のアーカイブなどを行う。 ①第31回演奏会《鈴木秀美が振る20世紀の三章》芥川也寸志:交響三章(1948)・深川史郎:架空のバレエのための三楽章(1956)・P.ヒンデミット:バレエ組曲「気高い幻想」(1938)・三善晃:交響三章(1960)…いずれの作品においても各作曲家における先入観にとらわれない演奏を試みる。 ②第32回演奏会《コラージュ・秋山邦晴》武満徹:組曲「太平洋ひとりぼっち」(1863/1996)・E.サティ:バレエ組曲「パレード」(1917)・伊藤昇:マドロスの悲哀への感覚(1930)・湯浅譲二:ピアノ・コンチェルトティーノ(1994)・早坂文雄:管弦楽のための変容(1953)…亡くなって20年を経過した今なおその業績が輝きを放つ音楽評論家の秋山氏にフォーカスする。	芥川也寸志メモリアル オーケストラ・ニッポニカ
	紀尾井ホール		

# 平成29年 助成事業一覧表

(※開催日順)

事業名	実施時期	事業目的 / 事業内容	団体名
	実施場所		
(10) 「新しい童謡曲集11・12」による 「第62回新しい子どもの歌コンサート」	平成29年8月3日	当協会は創立当初より幼児・児童を対象に「子どもにはこどもらしい歌・楽しい歌、子ども達が喜んで歌える歌」の創作を目標として、普及活動を行って来た。同時に曲集「楽しい童謡集」の発行と演奏会「子どもの歌まつり」を行い、平成18年からは曲集「新しい童謡曲集」「新しい子どもの歌コンサート」と改称しての曲集発行及び発表かいを継続し、創作・普及に努めているところである。来年度においても、曲集を発行しコンサートを開催して音楽文化の普及・発展に貢献していきたい。	全日本児童音楽協会
	渋谷区総合文化センター 大和田伝承ホール		
(11) 南相馬市の中高年による 「相馬ながれやま踊りjuniorの会」 関西公演	平成29年8月4日, 8月5日, 8月8日	東日本大震災以前より、江戸時代から継承されてきた「相馬ながれやま踊り」の継承者たちは殆どが御高齢で、東日本大震災により継承者たちの内、3分の一に及ぶ人数が減ってしまい「相馬ながれやま踊り」の継承が危惧され出した。そんな中、南相馬市のために何かの役に立ちたいと感じた20名程の中高生たちが現れ、伝統芸能の継承は元より彼女たちの演舞を通して「福島の南相馬っこの元気」を発信するためだった。28年度の関西公演では、日本的なものを求めて外国からの観光客の皆さまが多く来場され、来場者数の70%にも及ぶ。聴衆を前にしたステージに馴染みつつある彼女たちは、古式豊かさとフレッシュさが溶け合った新しい伝統芸能の担い手として創造的な役割をも演じようとしている。	相馬ながれやま踊り Junior の会
	・京都市・奈良市・伊勢市		
(12) 第18回 定期演奏会	平成29年8月19日	高い演奏技術を要するクラシック音楽の中で長年人々に愛され演奏されてきた楽曲を選曲した。オーケストラ演奏での音楽体験を通して、他者と協調・調和することで得られる真の創造の喜びと達成感を経験することで子どもたちを個性豊かな創造力あふれる国際人へと育成し、社会との協調精神を育むことを目指す。本公演では当団体生でプロの演奏家として活動の傍ら、講師として子どもたちを指導し身近に接する演奏家をソリストとして起用することで団員に良い刺激を与えたとともに若手音楽家の育成にもつなげる。近年、多くの卒団生がエキストラやスタッフとして参加し現役団員達と直接かかわりを持つことで、芸術創造に対する真摯な姿勢や社会人への成長段階における自由闊達な自己実現と研鑽のプロセスを共有する空気が生まれ、これを本公演に結実させることで観客に音楽世界の奥深い魅力と可能性を伝えたい。	特定非営利活動法人 東京ジュニアオーケストラ ソサエティ
	文京シビック大ホール		

## 平成29年 助成事業一覧表

(※開催日順)

事業名	実施時期	事業目的 / 事業内容	団体名
	実施場所		
(13) あすなるコンサート 2017	平成29年8月下旬 ～11月下旬	当団体は、未来の聴衆を育てることと、音楽家の社会貢献を目指して、山間部や離島など100人以下の小規模にプロの音楽家によるコンサートを届ける実行委員会をたちあげ協働活動している。プロの音楽家による生演奏を聴く機会は減りつつあるため、楽器に触れ、演奏される音楽を多くの子どもたちに体験してもらうことで、未来の観客・演奏家の育成にも通じる。また、音楽家にとっても、それぞれの学校との打合せを通じて幅広い年齢(学年)に合うプログラムの工夫をすることで、自身の演奏活動の幅が広がる。一般公募した、へき地の小規模校(100人以下)でのプロの音楽家がボランティアでコンサートを開催する。	あすなるコンサート 実行委員会
	全国100人以下の 小規模校－20～30校		
(14) ひたちオペラ合唱団 創立20周年記念第5回 OPERA NOSTRA 公演オペレッタ 《こうもり》	平成29年9月3日	「オペラによるまちづくり事業」を日立市が推進するため、中心的な役割を担ってきた。この間に培われたオペラ自主公演の意欲が2003年～2013年の間に4回公演を上演し高評のため、市内外の方々から次回公演への要望と激励をもらい、今回は創立20周年を記念してオペレッタ(こうもり)を上演する。第二幕のパーティーの場面は市民の方々の出演も取り入れ市民の皆様と楽しみを分かち合い地方文化の向上と日立市の活性化に寄与したい。	ひたちオペラ合唱団
	日立シビックセンター 音楽ホール		
(15) 第50回 「新しい日本の歌」発表演奏会	平成29年9月23日	わが国には、世界に誇り得る「歌曲の伝統」がありながら、この事実を認識している人は決して多いとはいえない。私どもクラシック系の詩人と作曲家で構成する「詩と音楽の会」では長年にわたりこの良き伝統を守り、育て、発展させるために芸術歌曲を中心に創作活動を展開してきた。現在までに都市 1,514 曲の新しい作品を世に送り出し、出版、放送、更に最近では CD 制作を通して新作の普及、浸透に努め、すでにコンサートの曲目として定着しつつある作品も増えている。来年度においても当会会員より作品を募集し選考の上、平成28年9月23日に東京文化会館小ホールにおいて演奏会を開催し、同演奏会のライブ CD を制作します。	詩と音楽の会
	東京文化会館小ホール		

# 平成29年 助成事業一覧表

(※開催日順)

事業名	実施時期	事業目的 / 事業内容	団体名
	実施場所		
(16) JAZZ ART せんがわ 2017 (第10回)	平成29年9月13日 ～17日	即興表現を中心とした先鋭的な演奏・アートパフォーマンスに焦点を当てた独自のプログラムを展開することで地域と一体となってその表現を発信し、観客が新しい音楽と出会うことを目的としている。総合プロデューサーに巻上公一、プロデューサーに藤原清登と坂本弘道を迎え、せんがわ劇場が開館した2008年より開催し、音楽ファンや一般市民や子どもたちを対象としたライブ、街を歩く人々へアピールするイベント等も開催している。	調布市せんがわ劇場 イベント実行委員会
	調布市せんがわ劇場・ 仙川駅前 他		
(17) 芸術国際交流特別演奏会 「さらなるウィーンの響き」 ～ウィーンの会20周年記念演奏会	平成29年10月6日	ウィーンの会は20年前にドイツ歌曲、現代歌曲の詩と音楽を通じ芸術、音楽、文化の地域への普及を第一目的に設立され、現代音楽の器楽作品発表も含め国内外で多くの演奏会を開催してきた。デュッセルドルフ、チューリッヒ、ウィーン、横浜、長崎、宮崎において大成功を収めた。20周年記念演奏会では、まさしく「ウィーンの響き」を持つウィーンからの作曲家を招聘し日本人作曲家の作品等さまざまな作品を通し宮崎の皆様にもその本物の「さらなるウィーンの響き」を届けたい。	ウィーンの会
	宮崎市民プラザ オルブライトホール		
(18) 第11回 ARTE 国際マンドリンフェスティバル &コンクール	平成29年10月7日 10月8日	本事業は弊団体の主たる活動目的である「マンドリン音楽の普及発展に関する事業を行い、文化・芸術の振興・発展に寄与すること」を实践するべく2005年より毎年開催している国際マンドリンフェスティバル&コンクールの第11回大会を開催致すもの。世界各地で研鑽を積むマンドリンアーティストがその腕前を競うことのできる環境をコンクール形式で提供する。コンクールを公開形式とすることで国内マンドリン愛好家・演奏者に普段触れることのできない内外トップレベルの演奏を経験する貴重な機会を提供してきた経緯にある。他国の現状と比しクラシック音楽界において日本のマンドリン音楽は一般への浸透度合いにおいて大きく後れを取っている中、弊社団体では上述活動並びに主催定期公演を通じ、自己拠出並びに各種団体の助成を得ながらマンドリン音楽の普及発展活動に努めてきた。	特定非営利活動法人 ARTE MANDOLINISTICA
	いずみホール(大阪市)		

# 平成29年 助成事業一覧表

(※開催日順)

事業名	実施時期	事業目的 / 事業内容	団体名
	実施場所		
(19) 被災地支援 こどもオリジナルミュージカル プロジェクト	平成29年10月中旬	震災発災後、十分な芸術に触れる機会がなかった子どもたちにプロの演奏者、ダンサーとともに作るオリジナルミュージカルの上演を通じて創造的な文化活動を体験してもらい、歌やダンスのレッスンや演奏者によるコンサート、楽器のワークショップも含む。	特定非営利活動法人 REED ヒューマンプロジェクト
	大船渡保育園をはじめとする被災地の保育園、幼稚園、学校施設		
(20) 風が吹いてきたよ2017 小豆島肥土山音楽祭	平成29年10月22日	<p>プロジェクトが目指すものとして下記を掲げている。</p> <p>〈1〉農村歌舞伎ならびに舞台を次世代に継承 (期待効果は認知拡大ならびに会場費を改修費に)</p> <p>〈2〉地域活性化 (期待効果は目的や独自性欄に記載したような取り組みの継承)</p> <p>〈3〉新しい層ならびに、移住も含めた小豆島の生活に興味がある方の来島誘致 (同→NPO 法人 Totio での PR 活動と併せて移住者促進とイベント参加の提案等も行う)</p> <p>小豆島文化のアイコンともいえる農村歌舞伎舞台の新たな活用を示していくことが島の文化を再認識し「誇り」を高められるような取り組みが必要と考える。また、様々な人々が自分事として参加し一体になることで「祭」のような活気の渦を生み出し、その熱量が新たな時代の島の豊かさを生み出すきっかけになって欲しいと考えている。</p>	風が吹いてきたよ 実行委員会
	肥土山農村歌舞伎舞台 (香川県小豆郡土庄町)		
(21) 広島交響楽団第374回 定期演奏会 下野竜也音楽総監督 就任記念シリーズ2 「三人の会・シューマンに寄す」2	平成29年10月27日	年10回実施する当年度の定期演奏会は、演奏に平和への想いを込める広響の個性に一層磨きをかけると共に下野音楽総監督をはじめ客演アーティストには世界的に活躍するマエストロやソリストを迎える。本公演においては、音楽家一家に生まれ幼少からその才能を発揮し、欧州などを中心に活躍目覚ましいセルゲ・ツインマーマンを迎えバルクの協奏曲を協演。シューマンといった名曲と共に邦人作品、20世紀の近現代作品など新体制で臨むにふさわしい意欲的な公演内容として取り組み、新体制広響のチャレンジング姿勢を明確にすると共に益々の地域音楽文化の発展と啓発に繋げるものとする。	公益社団法人 広島交響楽協会
	広島文化学園 HBG ホール		

# 平成29年 助成事業一覧表

(※開催日順)

事業名	実施時期	事業目的 / 事業内容	団体名
	実施場所		
(22) 第34回 現音作曲新人賞本選会	平成29年11月17日	「現音作曲新人賞」は毎回異なる審査員長が指定する編成による室内楽の作曲コンクールであり現代の芸術音楽の作曲者が世に出るための一つの登竜門となっている。第34回となる今回は南聡氏を審査員長に「地域性と現代性の新たな交差の可能性」をテーマとし、様々な編成の可能性のある8楽器の中から任意の三重奏、または四重奏作品を広く募集する。芸術音楽の分野において地域性という特性を活かして新しい音楽作品を創造することは果して可能か否かを若い作曲家たちに問いかけ、新鮮なアプローチを仕掛けた作品の誕生を望むことが、この作曲コンクールの意図するところであり、一つのヒントを投じることにより、より広い視座からの作品創造を奨励することは彼らの音楽活動の活性化に波及するものと期待している。	日本現代音楽協会
	東京オペラシティー コンサートホール		
(23) 第9回 JFC 作曲賞コンクール本選会	平成29年11月22日 (演奏会)	わが国の音楽文化活動の中心となるべき作曲の推進を促すことは、当会の事業の重要な目的のひとつである。「JFC 作曲賞」は2001年に創設され今回第9回を迎える。今回は国籍、年齢を問わず広く世界中から作品を募集し作曲活動を振興することを目的とする。また、今回のテーマである「日本の伝統楽器と洋楽器のための室内楽」の作品募集により、日本の伝統楽器への創作興味や意欲を盛り上げ作曲家、聴衆のそれぞれの伝統音楽文化への理解をより深めることも事業の目的である。	一般社団法人 日本作曲家協議会
	トッパンホール		
(24) 東京二期会オペラ劇場 『こうもり』全3幕 字幕付原語(ドイツ語)上演	平成29年11月22日 ～26日	当公演はオペレッタの新たな上演形態としてドイツ語による歌唱と日本語による台詞という形をとり楽曲の持つ魅力はそのままに台詞で物語を展開していく、オペレッタの魅力を日本の聴衆に向けて発信するというを目的としている。演出のアンドレアス・ホモキ氏は伝統を踏まえて作品の世界観を表現しつつ細かな心理描写に長け非常に高い評価を受けたもの。当公演にあたり舞台美術等はこれを使用しつつ、演出者自らの演技指導により東京バージョンとも呼べるべきものを制作する。弊財団では細部まで作りこまれたこの舞台を更なる水準で完成させレパートリー化を計画している。	公益財団法人東京二期会
	日生劇場		

# 平成29年 助成事業一覧表

(※開催日順)

事業名	実施時期	事業目的 / 事業内容	団体名
	実施場所		
(25) 全日本音楽著作権協会音楽祭 「こころの歌」コンサート開催及び 会報の発行	平成29年12月	当協会は昭和22年(堀内敬三)を会長に、作詩・作曲・訳詩・編曲家により、音楽著作権家の生活権を擁護し音楽文化の普及発展を図ることを目的に日本音楽著作権組合として設立され平成9年に創立50周年を機に全日本音楽著作権協会と改称し現在に至る。全日本音楽著作権協会音楽祭「こころの歌」コンサートは、会員の作品のうち人知れず埋もれている歌を陽の当たる場所に登場させる事を目的に毎年実施している。また、会報は年2回発行し会員に音楽祭の情報を提供すると共に、会員からの話題も掲載し会員相互の意思疎通を図っている。	全日本音楽著作権協会
	アルカディア市ヶ谷 (私学会館)		
(26) ブラームズ:交響曲全集Ⅲ	平成30年2月4日	国内外で高い評価を受けるプロフェッショナル・オーケストラを招き、クラシック音楽の名曲中の名曲であるブラームズの交響曲全4曲を4年かけて静岡の聴衆に提供することを目的とする。2015年度から4年連続のシリーズとして実施し、第3弾となる今回は隣接区の大ホールを利用しオーケストラ音楽の醍醐味を存分に紹介する。2017年度はこのシリーズの初回で静岡の聴衆を魅了した東京交響楽団を再招聘し一級のオーケストラ・サウンドを聴いていただくものとして開催したい。	公益財団法人 静岡市文化振興財団 静岡音楽館 AOI
	静岡市清水文化会館 マリナート 大ホール		
(27) 3.19 ミュージックの日 2018	平成30年3月	1991年に音楽家と聴衆がともに「生音楽・生演奏の素晴らしさを改めて感じよう」という願いを込めて3月19日を「ミュージックの日」と提唱した。毎年この日を中心にして3月にあらゆるジャンルの音楽家と関係スタッフが協力して、北は北海道から南は沖縄まで全国一斉に生の演奏に触れてもらう機会を増やす「全国横断コンサート」を開催している。演奏会場はホールに限ることなく、幼稚園や病院、公共施設のロビーなど、通りがかりの方でも気軽に聴ける場所での演奏も行う。この活動を通じて、音楽家が自らの演奏をもつての社会貢献と、音楽に親しむ観客を増やし次代の芸術文化を育てると考え、生演奏を通して音楽の可能性を探る。	日本音楽家ユニオン
	全国各地のホール・ パブリックスペース (駅・病院・街頭)		

# 平成29年 助成事業一覧表

(※開催日順)

事業名	実施時期	事業目的 / 事業内容	団体名
	実施場所		
(28) 第32回 藤田まさと記念新作歌謡コンクール	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶平成29年6月～9月迄 …公募募集</li> <li>▶平成29年10月 ～平成30年3月 …選考会～CD製品化</li> </ul>	本事業は当連合の初代会長を務めた作詩家「故・藤田まさと氏」の業績を称えて、新しい作品の開発と作詩家の発展と育成を目的として設けられたもので、広く全国に公募し、優秀作品を選考、顕彰するとともに、同時にその作品の作曲を公募、付曲しCD製品化することにより世に広め、音楽文化の発展に寄与することを最大の目的としている。今回で32回を迎えるが過去多数のヒット曲を輩出しており、現在では新人作家の登竜門として歌謡業界に燦然たる足跡を残している。本年度も更にその目的遂行に努力を致す決意である。	日本音楽作家連合
	<事業詳細期間> ・平成29年6月～9月… …公募募集 ・平成29年10月… …最終審査会開催 ・平成29年11月～12… …最優秀作品の 作曲募集 ・平成30年1月… …最優秀/優秀作品決定 ・平成30年3月…原盤制作 《CD制作化のため》		
(29) 日本詩謡集・日本詩謡曲の発行及び 「日本詩謡曲集」を聴く集いの開催	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶平成29年6月&lt;2017年版&gt; 日本詩謡集の掲載詩への付曲を作曲家に依頼</li> <li>▶平成29年11月&lt;2017年版&gt; 日本詩謡集(2017年版)を発行配布</li> <li>▶平成30年3月… 「日本詩謡集」を聴く集いを開催</li> <li>▶日本詩謡集(2018年版)発行、配布</li> </ul>	当連盟は、初代会長<西条八十>を中心に昭和36年に創立、商品化にこだわらず日本人が持っている美しい詩情を世に示すため、また会員相互の作品の錬磨と研鑽の場として、52年間中断することなく日本詩謡集(既刊52集)及び日本詩謡曲集(既刊37集)を発行し、図書館、関係団体に広く贈るなど、音楽文化の発展に寄与することを目的としてきた。日本詩謡集は、会員から作品を募り約60作品について新作の詩集として発行している。当該詩謡集の作品に作曲者の協力を得て付曲し、楽譜付きの歌謡曲集として発行。毎年3月に歌手の歌唱によりその楽曲を聴く集いを開催している。その結果、詩を書き、曲を付け歌唱して発表するという一連のシステムを完成させ作家や歌手の発掘と育成及び歌謡ファンの増加を図っている。	日本詩人連盟
	けやきホール <聴く集いの開催>		

# 平成29年 助成事業一覧表

(※開催日順)

事業名	実施時期	事業目的 / 事業内容	団体名
	実施場所		
(30) 第22回「こどものコーラス展」	平成30年3月11日	日本童謡協会は、昭和44年(1969年)に創設され、平成25年(2013年)に内閣府より一般社団法人の認可を受けた。会員は詩人、作曲家より構成されている。平成8年(1996年)より子どものための“易しい・楽しい”合唱曲の創作とその普及のために「こどものコーラス展」事業を開催し、併せてその「合唱楽譜集」を出版している。この事業は“こどもの音楽文化”の向上と著作者の創造意欲の啓蒙、また音楽著作物を擁護し広くわが国の音楽文化向上に寄与することを目的としている。明日の日本を担う子どもたちへ、友情を育み希望を与える、真に“心の糧”となるための易しい楽しい合唱曲、新作合唱曲25余を提供するコンサート。児童合唱団6団体、総勢300名が一同に集い大きなコーラスの輪を展開する。また、コンサートに併せて作品の楽譜集を発行する。この「こどもコーラス展」事業は平成30年(2018)に第22回を迎える。	一般社団法人日本童謡協会
	府中の森芸術劇場 どりーむホール		
(31) 音楽大学フェスティバル・ オーケストラ演奏会	平成30年3月24日	首都圏の主要9音楽大学に加え、2020年のオリンピックを記念し全国の音楽大学の学生が交流・発展する機会を提供するとともに未来のオーケストラ界を担うであろう若手音楽家の育成と連帯、音楽大学生の演奏会運営(舞台スタッフ)への参画を推進する。また広く一般にその成果を披露することで普及愛好者の増大に寄与する。今回はドイツとフランスを中心に活躍する前リヨン国立管弦楽団音楽監督のジュン・メルクル氏を指揮に招聘し『春』をテーマにしたプログラムでその目的を、演奏会を通じて達成していく。	東京芸術劇場
	東京芸術劇場 コンサートホール		
(32) JCAA プレゼンツ 「音楽の料理人たち」	平成30年3月29日	音楽には様々なジャンルがある。当協会は、多岐に亘る音楽分野の作編曲家を擁することが団体としての強みである。現代音楽系、クラシック系、歌謡曲系等々、様々な会員が所属している。その特質を活かし、それらの分野を横断・融合するコンサートをつくることと、音楽業界の今後の発展に繋げるものとして後進育成・作編曲家の認知を軸として、まだまだ認識不足である著作権・著作隣接権に関して認識をしてもらうことを目的としている。	一般社団法人 日本作編曲家協会
	渋谷区大和田さくらホール		

## 平成29年 助成事業一覧表

(※開催日順)

事業名	実施時期	事業目的 / 事業内容	団体名
	実施場所		
(33) オーケストラの日 2018	平成30年3月31日	<p>日本オーケストラ連盟では、ひとりでも多くの方がオーケストラを通じてクラシック音楽に親しみ、オーケストラを通して文化芸術の力を社会に生かそうと2007年3月31日を「オーケストラの日」として活動してきた。全国各地でそれぞれの地域で加盟34団体のオーケストラがオーケストラ公演や室内楽公演、ワークショップや交流会などさまざまなイベントを開催している。また、首都圏では12楽団から選抜された演奏家による合同オーケストラ「オーケストラの日祝祭管弦楽団」を編成しオーケストラでなければ味わえないサウンドを聴いて貰うとともに、オーケストラ初心者向けの魅力的な企画で盛りだくさんの「オーケストラの日」ならではのイベントを開催する。このような普及活動が続けることで、幅広い方々にオーケストラ音楽を提供しひいては文化の発展へとつなげていくことを目的としていく。</p>	公益社団法人 日本オーケストラ連盟
	東京文化会館		